

仕上職人よくある質問と答え

- どうして塩を入れるのですか？
 - ・ 水のままでは、蒸気が出てきません。塩が入りますと、電気が流れやすくなり、短時間で蒸気が出てきます。
 - ・ 化学的には塩を入れることによって水に電解質が添加され、イオン化されて電気が通りやすくなります。

- どんな種類の塩を入れるのですか？
 - ・ スーパーなどでよく売られている、1 Kg 100円ぐらいの食塩<(財)塩事業センターの食塩>が塩の精製度が高く安価で最適です。
 - ・ ミネラルその他の成分(一般的には高価な塩)が多く含まれたものは使用しないで下さい。

- 塩が蒸気といっしょにでて、洋服につくようなことはないのですか？
 - ・ 塩分が蒸気と一緒にで出くことはありません。海水の塩分が蒸発しないのと同じです。従って塩が洋服につくことはありません。

- 中の水が少し濁っているようですが？
 - ・ 長時間使用後にスチーマーの中の水が少し黒く濁る場合があります。それはスチーマー内に入っているカーボンが消耗したことによるものです。故障ではありません。
 - ・ またそのことにより衣服が黒く汚れることもありません。

- どんな種類の繊維でも大丈夫ですか？
 - ・ **革、合成皮革**などの製品には適しません。使用しないでください。**高級カシミア**は、水や蒸気をかけると風合いをそこねますので使用はお勧めできません。
 - ・ **最高級和服など一部のシルク**は、縮む場合があります。また、**特殊な素材**につきましては目立たない個所でテストして下さい。

まだまだあります、こんな便利な使い方

- 衣替えや、おろしたてのセーターに。たたみじわをとりふっくら仕上がります。
- スーツのズボンにズボンプレスでうっかり二本の折り目をつけてしまった時。仕上職人で折り目をとり再度ズボンプレスをご使用下さい。

Plumnet

プラムネット 株式会社

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 1-2

菱興高島台第3ビル4階

Phono. 045-312-6016 Fax. 045-312-6077

E-mail info@plumnet.jp

www.plumnet.jp

素材・洋服 参考適合表

◎最適 ○適 △可 ×不可

素材	適合	参考コメント
ウール	◎	最も効果絶大な素材です。
シルク	◎	ウール同様、最適の素材です。
綿(厚手)	△	ジーンズなど、どちらかという苦手な素材です。
綿(薄手)	○	夏物の薄手のTシャツやフリルのついたものにお勧めします。
ポリエステル	○	綿とポリエステルの混紡にもお勧めいたします。
麻100%	×	シワが伸びにくい、苦手とする素材です。
麻50%以下	○	ポリエステルや綿との混紡にはご使用いただけます。
革製品	×	革製品には使用をさけてください。
ベルベット	◎	アイロンのアタリさえも復活させてしまいます。
洋服	適合	参考コメント
ワイシャツ	△	パリッと仕上げたい綿のワイシャツには普通のアイロンがお勧めです。効きすぎたのりをやわらかにしたり、クリーニングの折りジワを修正したりといった使い方で喜ばれています。
ニット製品	○	ニットならポロシャツなど多少厚手の綿でもご使用になれます。
セーター	◎	たたみジワをなくしてふんわりと仕上げます。
スーツ	◎	背ジワ、座りジワなど、日々のちょっとしたシワとりに、またタバコや食べ物のニオイとりに
コート	○	スーツ同様、毎日のお手入れにどうぞ。
ハンカチ	△	パリッと仕上げたい綿ハンカチには普通のアイロンがお勧めです。タオル地のハンカチなどには、ふわっと仕上がる仕上職人をどうぞ。
スカーフ	◎	シルク独特の風合いをそこねず、シワがとれます。
マフラー	◎	ふんわり仕上げシワもすっきり
カーテン	○	新品カーテンの折りジワに、タバコ・ペットのニオイとりに。

*洋服の適合(下段)よりも、素材の適合(上段)が優先されます。

*大切な服、また高価な服には、目立たない箇所でテストしてからご使用ください。

*上記の素材・洋服適合表は目安でございます。この表通りの結果が出ない場合もありますので御了承をお願い致します。